

論文内容要約

論文題目

病棟看護師の退院支援実践向上を目指した ICT による退院患者フォローアッププログラムの開発と評価

教育・研究領域：生涯生活支援看護学

氏名：進藤 真由美

【要約】（1,200 字以内）

本研究は、退院支援の主な実践の場である地域包括ケア病棟において、病棟看護師が ICT による退院患者フォローアップを体験するプログラムを開発し、病棟看護師の退院支援の実践向上が図られたかを評価することを目的とした。

対象は A 県内 2 病院の地域包括ケア病棟（X 病棟（介入群）、Y 病棟（非介入群））の看護職計 42 名とした。X 病棟のみ ICT による退院患者フォローアップを体験する介入（以下、介入）を実施した。介入前後で退院支援実践自己評価尺度（the Discharge Planning Ward Nurses :DPWN）等の群内での変化を評価した。

X 病棟では介入終了時に DPWN が有意に上昇し、介入後に有意に低下した。Y 病棟では介入前後で DPWN の値に有意差はなく、介入後は有意に低下した。

本研究で開発したプログラムには、病棟看護師の退院支援の実践向上に貢献する可能性があることが示唆された。今後は交代勤務や他の業務と併行して退院支援に携わる病棟看護師の負担を軽減するシステム構築が期待される。